

平成24年度 一般会計当初予算を家計に例えると

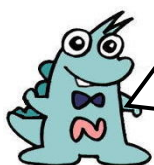
市の予算書等を見ても、金額が多いうえ言葉も専門的で分かりにくいという方にも、より身近に感じていただくために、平成24年度一般会計の当初予算を年収500万円の1ヶ月あたりの家計収支に例えてみました。

収入

費目	金額	予算科目
給料	417,000円	市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料 財産収入、寄附金、繰越金、諸収入
親からの援助	142,000円	地方譲与税、交付税、交付金、国庫・県支出金
家族からの援助	0円	繰入金(他会計)
貯金の取り崩し	18,000円	繰入金(基金)
ローン	34,000円	市債
合計	611,000円	

支出

費目	金額	予算科目
食費	111,000円	人件費
医療費	111,000円	扶助費
ローンの返済	39,000円	公債費
自宅の修繕、増改築	86,000円	普通建設費、維持補修費
消耗品・光熱水費・備品購入 等	136,000円	物件費
保険料・税金・ 親戚や友人への援助	69,000円	補助費等、投資・出資・貸付金
貯金	0円	積立金
家族への援助	58,000円	繰出金
予備費	1,000円	予備費
合計	611,000円	



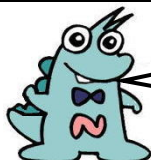
月給417,000円に対し、支出総額は611,000円もあります。支出の内訳をみると、最も多額になっているのは、消耗品・光熱水費・保険料・備品購入等の136,000円です。

また、簡単に削ることのできない食費、医療費、ローンの返済をあわせると261,000円になります。この3つは、市の会計においても義務的経費と言われ、削減することが容易でない経費とされています。

なお、月額支出合計が月給を上回ることから、その不足分を親からの援助、貯金の取り崩し、ローンなどで補っています。

借金及び貯金残高の見込

借金残高	5,305,000円	年度末起債残高
貯金残高	607,000円	年度末基金残高



当初の予定通り収入や支出が行われますと、平成24年度末時点での借金残高が5,305,000円、貯金残高が607,000円となります。